

質問書・回答

○仕様書 P4 下段のア～コの掲載内容については全項目掲載する必要があるか。

いいえ。掲載内容 3 の通りです。

○企画提案書は日本語ベースで作成するのか。

はい。但し、タイトルのみ各言語で提案し日本語の説明を入れてください。

○写真を集める際に、マリン事業者のクレジットを掲載可能か。

公平性を保つためにも、クレジット掲載は不可とします。但し、マリン事業者から写真を借りる際の交渉で、レンタル年数や、巻末ページでの協力や提供などの記載が必要であれば、企画書に明記してください。

○写真を集める際に、写真家のクレジットを掲載可能か。

原則、掲載している写真で一個人や事業者が断定できるような掲載は不可とします。但し、写真家から写真を借りる際の交渉で、レンタル年数や、巻末ページでの協力や提供などの記載が必要であれば、企画書に明記してください。

○ガイドブックは海外のイベントで全て配布するのか。

OCVB が出展する海外でのダイビング博及び旅行博を中心に、県内観光案内所並びに県内で開催される国際ダイビング博などで外国人対象に配布します。

○P3、2.7、(1)について詳しく教えて欲しい。

まとめ上げた制作物については OCVB が使用するにあたり、OCVB の判断で、構成を変えたり、イラストを変えたり、更新作業を行います。受託事業者がこの制作物を譲渡もしくは販売することはできません。

○ガイドブック或いは HP での写真の掲載期間は何年間程度か。

写真の使用期間の設定がないことが望ましいですが、写真家からのレンタル写真等に契約年数が必要であれば、それも記載してください。このガイドブックでは写真は非常に重要なので、より良い写真を確保するのに必要があると判断されれば、使用期限付きの契約も考えられます。

○企画書の中で写真家の名前を挙げてよいのか。

写真家の写真を使用するのであれば、写真家のプロフィール等も記載してください。

○ガイドブックは来沖した外国人というよりも海外にいる人がターゲットか。

当ガイドブックは、海外で沖縄への旅行を検討している方々と実際に来沖した外国人観光客への沖縄マリンアクティビティを説明する資料として両方の機能を併せ持ちます。

○折り込みのマリンショップリストも提案するのか。

リストの様式及びデザインをご提案ください。実際に掲載するショップの詳細については受託者が決まってから細かく調整していきます。

○企画書の様式、ページ数は自由か。

はい。

○企画書作成の際、執行体制やスケジュールは別添でもよいか。

はい。

○企業名明記について、見積書も他書類と同条件か。

はい。同様に、原本1部・企業名記載のないもの7部を提出してください。

○サンプル(つかみ本)を提出したほうがよいか。

必須ではありません。

○仕様書 P4 掲載内容 5 について外国語対応というのはどの言語レベルか。

Web、電話等の問い合わせへの対応、現場でのブリーフィングをそれぞれの言語で対応し、安心・安全が確保できることが基本となりますが、実際に掲載するショップの詳細については受託者が決まってから細かく調整していきます。

○ターゲットはファミリーか。若者か。

マリンアクティビティを楽しむ全ての層に訴求効果をもたらすパンフレットを目指しています。ターゲットは初心者から上級者まで、若い世代が中心となります。